

## ① 帰り道

1

- ・ 「帰り道」を読んでみよう。
- ・ 君から見た「律」と「周也」はどのような人物だろうか。

参考

ここは、お子さんと意見交換をしてみてください。考えを尊重しながら「律」と「周也」について話してみましょう。

## 考え方のヒント

文章内での二人の言葉遣いやチョイスなどに注目してみましよう。同じ場面の描写でも二人が見えているものは異なっています。そのようなところからも、二人がどのような人物か読み取ることができるのではないのでしょうか？

- ・ 「律」から見た「周也」、「周也」から見た「律」はどのような人物だろうか。

## 「律」から見た「周也」

例・よく話す

- ・ 話があちこち飛ぶ
- ・ 自分よりたくましい
- ・ 何事もテンポよく乗り超えていけそう など

## 「周也」から見た「律」

例

- ・ いつもマイペース
- ・ はっきりしない部分がある
- ・ 傷つきやすい など

## 考え方のヒント

お互いが尊敬している部分や直して欲しいと思っている所はあるでしょうか。また、二人の共通点などを考えると、相手に対する考えが深まります。

- ・ 「律」から見た「律」、「周也」から見た「周也」はどのような人物だろうか。

## 「律」例

- ・ 思っていることが言えない
- ・ 周也より劣っている
- ・ すぐに立ち止まってしまうなど

## 「周也」例

- ・ 自分の言葉は軽すぎる
- ・ 沈黙が苦手
- ・ 落ち着きがないなど

## 考え方のヒント

二人はクラスや家ではどのような子供なのでしょう。それぞれの環境の中でどのように自分自身が見えているのかを考えてみましょう。

2

- ・ 次の3つの場面での「律」と「周也」のそれぞれの心情を読み取ろう。

### 考え方のヒント

同じ場面の描写で二人はどのような言葉を使っているでしょうか。一つの出来事に対する二人の感じ方の違いを情景や言葉遣いに注目して考えてみましょう。

## ①昼休みの出来事

### 「律」

例

- ・ みんなのテンポに付いていけない自分に落ち込んでいる
- ・ 周也からの言葉に傷ついているなど

### 「周也」

例

- ・ はっきりしない事にイライラしてしまう
- ・ 余計な事を言ったことを後悔する気持ち など

## ②天気雨の前

### 「律」

例

- ・ 昼休みの事を引きずり落ち込んでいる
- ・ 先を歩く周也を見て自分はダメだとあきらめている など

### 「周也」

例

- ・ 余計な事を言ってしまったと反省している
- ・ 母の言葉を思い出し、自分が会話のキャッチボールができていない事を感じている など

## ③天気雨の後

### 「律」

例

- ・ 単純すぎる自分が恥ずかしい
- ・ 周也に自分の言葉を理解してもらえた気がして前向きな気持ちになっている など

### 「周也」

例

- ・ 律と一緒に大笑いしてうれしい気持ち
- ・ 初めて律の言葉を受け止められたかもしれないと感じている など